

(仮訳) 原文と日本語訳との間に相違がある場合には、原文が優先します。

ミシェル・マデラン氏が IFRS 財団マネージングディレクターに就任

[IFRS 財団の評議員会](#)は、2024年9月9日から2年間の任期で、ミシェル・マデラン氏を IFRS 財団のマネージングディレクターに任命したことを発表した。

マデラン氏は、ムーディーズ・インベスター・サービスの社長兼最高執行責任 (COO)、EY フランスの元パートナーを歴任した経験豊かで評価の高いリーダーである。2018年から2023年まで IFRS 財団の評議員であり、その間、指名委員会の議長を務め、国際会計基準審議会 (IASB) とともに国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) の設立に尽力、気候変動開示基準委員会 (CDSB) と価値報告財団 (VRF) の財団への統合を主導した。

評議員会の議長と直接の関係にあるマネージングディレクターは、IFRS 財団の戦略計画の策定と実施を主導するとともに、IFRS 財団の中核となるチームを率いる責任を負う。主な優先事項には、「1つの財団、2つの審議会」という運営モデルの効率性と有効性を実現すること、財団の長期戦略と資金調達体制を発展させること、IASB と ISSB のリーダーと協力して戦略計画を策定することなどが含まれる。

マデラン氏の就任により、財団は重要な時期に強力な経験豊富なリーダーシップを得ることができ、同時に評議員会は、今年初めのリー・ホワイト氏の退任後に開始された調査プロセスの中において、自ら必要とする長期的なリーダーシップに関して検討することができる。

エルッキ・リーカネン評議員会議長は、次のように述べた。

「ミシェル氏が IFRS 財団のマネージングディレクターを務めてくれることに感謝している。彼の COO としての豊富な業務経験と、評議員として得た IFRS 財団に関する深い知識で、すぐにでも IFRS 財団の成功への貢献が可能だろう。」

ミシェル・マデラン氏は次のように述べた。

「評議員会、IASB、ISSB と再び緊密に協力できることを楽しみにしている。また、マネージングディレクター代行を務めてくれたアンドレア・プライドに感謝するとともに、エグゼクティブ・オペレーション・ディレクターとしての彼女と一緒に働けることを楽しみにしている。」